

平成 13 年 7 月 9 日
第四管区海上保安本部水路部

海 洋 概 報 (平成 13 年第 6 号)

(伊勢湾流況調査)

1 調査概要

調査期間	流況調査	:平成 13 年 6 月 12 日		
	流況調査	:平成 13 年 6 月 26 日		
調査海域	伊勢湾			
		別図「流況調査 測点」参照		
調査船	測量船「いせしお」			
現地調査員	水路部水路課海象係長	木村 琢磨		
	“ “ 海象係員	福良 博子		
	測量船「いせしお」船 長	山本 常夫		
	“ “ 機 関 長	石原 信雄		
	“ “ 主任機関士	吉岡 直行		
	“ “ 航海士補	渡部 千尋		
	京都大学助手	笠井 亮秀		
	“ “ 大学院生	山尾 理		
	“ “ “	赤嶺 里美		
	“ “ 大学生	小林 志保		
調査項目	流況調査	:水温・塩分		
資料整理	海象係長	木村 琢磨、海象係員	福良 博子	

2 観測経過

6 月 11 日及び 26 日は、天候・海上模様共に良く、全測点の観測を実施することができた。

3 海況（成果は別図参照）

流況調査（伊勢湾）

6月12日

水温： St.1～4の上層及び St.5～7は、平年に比べ1程度高かった。

St.2の中層付近に平年に比べ1程度高い暖水が存在した。
その他の地点においてはほぼ平年並であった。

塩分： St.1～3の表層付近に河川水流入による低塩分水が見られなかった。

St.1～5の上層付近は、平年に比べ1程度高かった。
その他の地点はほぼ平年並であった。

6月26日

水温： 各測点の上層は、平年に比べ1～4高かった。
その他の地点は平年に比べ1程度高かった。

塩分： St.1～2及び St.4～6の表層は平年に比べ3～5低かった。
St.1～3の上・中層及び St.4～6の中層は、平年に比べ1程度高かった。

その他の地点は、ほぼ平年並みであった。

6月12日と26日の比較

St.1～6の表層が高温低塩分水化していた。

St.2及び St.5の上層が高塩分水化していた。

St.1～4の中・下層が高温水化していた。

St.1の上層の一部・ St.6の中層の一部・ St.7の下層が低温水化していた。

*使用した平年値は、「三重県水産技術センター研究報告第6号（平成8年10月）伊勢湾における海況の季節変化」に基づいている。